

記入例

一般 3-0

—山形市コミュニティファンド— 令和5年度 支援申込書（一般補助）

提出日を記入します。
※4月3日～4月28日まで

令和●年●月●日

山形市長

〒990-8540

応募団体の住所、名称、代表者職・氏名・連絡先を記入します

所在地 山形市旅籠町 2-3-25

団体名 山形100年プロジェクト実行委員会

代表者役職・氏名 代表 協働 太郎

※連絡先氏名 協働 太郎 電話番号 023-641-1212

連絡先氏名等については、今後、問い合わせ窓口となる方を記入します

E-mail kikaku@city.yamagata-yamagata.lg.jp

補助希望金額

300,000円

事業に関連する政策について○印を付けてください。（下表の左欄：複数可）
そのうち、最も関連する政策について1つだけ◎を付けてください。

山形市発展計画2025重点政策

左記にかかる市民活動の種類

健康の保持・増進

保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、観光、学術・文化・芸術・スポーツ振興、災害救援、地域安全、男女共同参画、子どもの健全育成、情報化、科学技術、経済活動、消費者保護

健やかな子どもの育成

保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、地域安全、人権擁護・平和推進、子どもの健全育成、情報化、科学技術

地域共生社会の実現

保健・医療・福祉、まちづくり、地域安全、人権擁護・平和推進、職業能力・雇用機会拡充

創造都市の推進

まちづくり、観光、学術・文化・芸術・スポーツ振興

○

地域経済の活性化

社会教育、まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、学術・文化・芸術・スポーツ振興、環境保全、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充

山形ブランドの浸透と交流の拡大

まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、学術・文化・芸術・スポーツ振興、国際協力、経済活動、職業能力・雇用機会拡充

◎

都市の活動を支える基盤整備

まちづくり、観光、環境保全、災害救援
地域安全、消費者保護

○

環境保全

まちづくり、環境保全、地域安全、消費者保護

チャレンジできる環境の創出

社会教育、まちづくり、環境保全、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充

広域連携の推進

保健・医療・福祉、まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、環境保全、災害救援、地域安全、男女共同参画、子どもの健全育成、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充、消費者保護、市民活動支援

協働の推進

まちづくり、地域安全、人権擁護・平和推進、男女共同参画、市民活動支援

行財政改革の推進

まちづくり、災害救援、情報化

アフターコロナにおける地方創生の推進

保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、観光、地域安全、男女共同参画、子どもの健全育成、情報化、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充、消費者保護

下記事項に相違ない場合は□に✓を記入してください。

✓	市税を滞納していないこと（法人のみ）
✓	宗教活動、政治活動、選挙活動を主目的とする団体でないこと
✓	特定の公職者又は政党を推薦、支持、反対することを目的とする団体でないこと
✓	暴力団若しくは暴力団・その構成員の統制下にある活動を目的とする団体でないこと
✓	無差別大量殺人行為を行なった団体の規制法による処分を受けている団体又はその構成員の統制下にある団体でないこと

※上記事項に違反する事実が認められた場合は、事業の採択を取り消す場合があります。

添付書類の確認		※添付書類をご確認ください。
✓	事業計画書	
✓	収支予算書	
✓	事業のPR及び団体概要書	
✓	事業スケジュールと実施体制	
✓	他の補助金等に関する申告書	
✓	定款・規約・会則等	山形市認証NPO法人は不要です(変更がある場合は提出が必要です)。 コミュニティファンド登録団体は不要です。
✓	役員名簿・会員名簿	
✓	その他団体の活動内容が分かるもの	団体紹介チラシ等 ※任意提出です。(A4版2枚まで)

【事務局記載欄】

申込み先（事務局）
 山形市企画調整部企画調整課
 山形市旅籠町二丁目3番25号 4階
 TEL：023-641-1212（内線223）

記入例

事業計画書

一般 3-1

団体名

山形100年プロジェクト実行委員会

事業名	(ふりがな) やまがたひゃくねんぶるじえくと 山形100年プロジェクト		
補助希望額	300,000円		
事業の目的と内容	山形の鮮やかな四季を舞台に、自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた様々な地域資源を活かし、100年後もいきいきと輝き続ける山形市の実現を目的として「山形100年会議」を開催する。 山形の魅力を熟知する山形市内外の有識者を講師やパネリストとして招いて「山形100年会議」(基調講演及びパネルディスカッション)を行うことにより、山形市の地域資源をもう一度再認識するとともに、山形市の地域資源が繰り返し洗練され世界に発信し続けるといった循環型の仕組みを探求する。 また、会議終了後に懇親会を開催し、有識者と様々な価値や知識、技術を持つ参加者による情報交換を促し、新たな価値の創出を狙う。		
事業開始予定日	令和5年6月1日	事業終了予定日	令和5年11月30日
事業の実施計画	■打合せ (10回予定) ○開催時期 6月～11月 ○場所 ●▲■会議室 ○内容 ・周知、広報について ・会議の概要、場所・日時について ・実績報告書提出について 他 ○補助対象経費 ・使用料 20,000円 ・印刷製本費 11,000円 ■周知・広報 ○チラシ、ポスターの配布 ・配布時期 8月下旬～9月上旬 ・配布先 山形市内公民館・コミュニティセンター、各種店舗等50箇所 ・配布枚数 ポスター計50枚、チラシ1000枚 ○広告掲載 ・掲載日 9月 (○○新聞) ○補助対象経費 ・印刷製本費 77,000円 ・広告料 50,000円 ■参加者募集 ○募集期間 9月1日～30日 ○募集人数 70名 ○参加受付 電話、FAX、e-mailによる申込 ■会議開催 ○開催日時 10月中旬 ○開催場所 ○○ホテル ○参加者数 80名 (懇親会50名)		

4月1日以降

5年7月1日～6年2月末の期間内

実施する事業内容の詳細
(日時、場所、参加人数、具体的内容、支出する経費等)を時系列で記入します。
また、経費の記載は収支予算書と整合性を取ります。

	○開催内容 ・基調講演 [演題] 誰もが羨む外から見える山形の地域資源 [講師] ○○ ○○氏 ・パネルディスカッション [テーマ] 地域資源が好循環する仕組みづくり [パネリスト] ●● ●●氏、■■ ■■氏、▲▲ ▲▲氏 ・懇親会 ○補助対象経費 ・謝金 80,000円 ・旅費 30,000円 ・使用料 50,000円 ・消耗品・材料費 5,000円 ・印刷製本費 22,000円 ○補助対象外経費 ・飲食費（懇親会）150,000円（会費により徴収） ■各種精算・支払及び報告書作成 ○時期 10月17日～11月30日
来年度以降の見通し	団体の目的である100年後もいきいきと輝き続ける山形市を実現するため、「地域資源発掘ガイドの作成」、「やまがたファンクラブの開設」等、来年度以降も活動的に事業を展開する。
補助事業を行なうことにより期待される効果	基調講演において、100年後もいきいきと輝き続ける山形市の実現に向けて、山形の鮮やかな四季により自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた山形市の様々な地域資源について認識することができる。 また、パネルディスカッションにおいては、地域資源が繰り返し洗練され世界に発信し続けるための様々なアイディアの提案が促進され、循環型の仕組みを構築するための足がかりとすることができる。 さらに、懇親会では有識者と様々な知識や経験を持つ参加者が情報交換を行い、異なる価値観や技術が融合し、今後新たな価値の創出が期待される。

記入例

一般 3-2

事業のPR及び団体概要書

～補助を希望する事業のPR～

山形100年プロジェクト実行委員会では、山形の鮮やかな四季を舞台に、自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた様々な地域資源を活かし、100年後もいきいきと輝き続ける山形市を実現するため、平成〇〇年より山形市内を中心に活動してきました。

今回実施する「山形100年会議」では、山形の鮮やかな四季が織り成す自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた様々な地域資源について再認識し、その地域資源が繰り返し洗練され世界に発信できる循環型の仕組みを築きたいと考えております。

この会議を実施するにあたり、様々な知識や経験を持つ参加者が繋がることで、異なる価値観や技術が融合し、今後新たな価値の創出が期待されます。

団体概要書

団体名	(ふりがな) やまがたひゃくねんぷろじえくとじっこういいんかい
	山形100年プロジェクト実行委員会
団体の住所	〒990-8540 山形市旅籠町2-3-25
代表者の役職・氏名	代表 協働 太郎
団体の目的	山形の鮮やかな四季を舞台に、自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた様々な地域資源を活かし、100年後もいきいきと輝き続ける山形市を実現する。
団体の設立年月日 NPO法人の場合は 法人設立の日を併記	平成/令和〇〇年〇月〇日 (法人成立の日：平成/令和〇〇年〇月〇日)
会員数	10人
主な活動場所	山形市内
団体のPRと これまでの活動実績	山形の鮮やかな四季を舞台に、自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた山形市が持つ様々な地域資源をもう一度再認識（発見）して、そして磨き上げるといった活動を継続して実施していきます。 【これまでの活動】 平成/令和〇〇年から“山形100年プロジェクト推進活動として、持続可能な循環型社会を目指し、100年後もいきいきと輝き続ける山形の地域資源を発掘するための活動を行ってきた。 【助成金などの実績】 平成/令和〇年度に〇〇〇財団の〇〇〇助成金を受け、〇〇〇活動を実施した。 【その他】 平成/令和〇年〇月〇日に団体の活動が〇〇新聞の夕刊で取り上げられた。
直近事業年度の支出額	800,000円
E-Mail	kikaku@city.yamagata-yamagata.lg.jp
ホームページURL	https://www.yamagata-cf.jp

定款・規約等から抜粋して記入します。

記入例

収 支 予 算 書

	収入	費 目	金額	備 考
		山形市補助金	300,000	
		参加者負担金	150,000	懇親参加費 3,000円×50人
		自己資金	45,000	
		合計額	495,000	
	支出	費 目	金額	備 考
		謝金等	80,000	〇〇 〇〇氏 50,000円 ●● ●●氏 10,000円 ■ ■ 氏 10,000円 ▲ ▲ 氏 10,000円
		旅費	30,000	〇〇 〇〇氏分 [交通費] 東京⇄山形20,000円 [宿泊費] 1泊 10,000円
		印刷製本費	110,000	・打合せ用資料コピー代 11,000円 11円×10枚×10部×10回 ・チラシ製作費 44,000円 44円×1,000枚 ・ポスター製作費 33,000円 660円×50枚 ・パンフレット製作費 22,000円 220円×100枚
		広告料	50,000	新聞広告料 (9月1日掲載分)
		消耗品・材料費	5,000	懇親会用ネームプレート 50円×100個 (参加者・スタッフ用)
		使用料・賃借料	70,000	・打合せ使用分 会議室使用料 20,000円 2,000円×10回 ・会場使用料 (山形100年会議) 50,000円
		小 計	345,000	
	補助対象外経費	飲食費	150,000	懇親会飲食費 3,000円×50人分
		小 計	150,000	
		合計額	495,000	

募集要項に記載されている下記の費目(区分)を記入します。

- ◆謝金等
- ◆貸金
- ◆旅費
- ◆食糧費
- ◆印刷製本費
- ◆広告料
- ◆消耗品・材料費
- ◆通信運搬費
- ◆使用料・賃借料
- ◆機材・備品費
- ◆保険料
- ▲その他

収入、支出の
合計額は同額

事業計画書に記載した内容
と整合性を取ります。

記入例

事業スケジュールと実施体制

一般 3-4

【事業スケジュール】

令和●年●月●日現在

実施予定年月日	場 所	内 容	備 考
令和5年6月	●▲■会議室	打合せ	①役割分担等について
令和5年6月	●▲■会議室	打合せ	②会議概要について
令和5年7月	●▲■会議室	打合せ	③会議概要について
令和5年7月	●▲■会議室	打合せ	④周知・広報等について
令和5年8月	●▲■会議室	打合せ	⑤周知・広報等について
令和5年8月		チラシ・ポスター配布	
令和5年9月		新聞広告掲載	
令和5年9月1日 ～30日		参加者募集	
令和5年9月	●▲■会議室	打合せ	⑥会議内容精査
令和5年9月	●▲■会議室	打合せ	⑦会議内容精査
令和5年10月	●▲■会議室	打合せ	⑧会議内容精査
令和5年10月	●▲■会議室	打合せ	⑨最終打合せ
令和5年10月	〇〇ホテル	山形100年会議開催	
令和5年11月	●▲■会議室	打合せ	⑩実績報告書提出について

【補助事業の実施体制】

氏 名	性別	年代	職 業	補助事業における役割
協働 太郎	男	40代	公務員	事業総括
〇〇 ▲▲	女	40代	公務員	事務・会計
〇〇 ▲▲	男	60代	無 職	広報・周知担当
〇〇 ▲▲	男	60代	農 家	広報・周知担当
〇〇 ▲▲	女	50代	農 家	広報・周知担当
〇〇 ▲▲	女	70代	会社員	広報・周知担当
〇〇 ▲▲	男	30代	会社員	会場担当
〇〇 ▲▲	女	40代	教職員	会場担当
〇〇 ▲▲	男	60代	無 職	会場担当
〇〇 ▲▲	女	20代	学生	会場担当
〇〇 ▲▲	男	20代	学生	会場担当

他の補助金等に関する申告書

今年度における当団体の活動について、山形市コミュニティファンドによる補助を申請するにあたり、山形市及び他の公的機関からの補助金（助成金）の交付状況に関して、以下のとおり申告します。

- 1 今年度について、山形市や他の公的機関からの補助金の交付状況についてご記入ください。

【いずれかに○をつけてください】

- () 補助を受けていない () 補助を受けている
() 申請中のところがある (○) 申請予定がある

※「補助を受けていない」と答えた場合は、以上で終了です。

- 2 1で「補助を受けている」「申請中のところがある」「申請予定がある」と答えた方にお聞きします。

相手先の公的機関名、補助金の名称、補助額、各補助金の使途についての概要をお書きください
(複数の申請先で領収書などが重複しないことが分かるように記入してください)。

公的機関名	〇〇省（国）
補助金・助成金の名称	〇〇〇活動補助金
補助額	300,000円
コミュニティファンドからの補助金の使途	山形100年会議開催に要する経費（当該事業）
コミュニティファンド以外からの補助金・助成金の使途	地域資源発掘ガイド作成費用

令和●年●月●日

団体名：山形市100年プロジェクト実行委員会

代表者役職氏名：代表 協働 太郎